

令和4年度 学校関係者評価 報告書

本校では学校評価項目について下記のように定めている。

令和4年6月23日(木)に学校関係者評価委員会を開催。この項目について評価していただいた。

1. 理念・目的・育成人材像

1. 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
2. 学校の理念・目的のもとに特色ある教育が行われているか
3. 社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか
4. 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等学生や保護者に周知されているか
5. 学校の教育目標・育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けされているか

2. 学校運営

1. 設置基準に沿った適切な運営がされているか
2. 目的等に沿った事業計画が策定されているか
3. 運営組織や意志決定機能は規則等に於いて明確化されているか
4. 教務や財務等の組織整備はされているか
5. 人事や給与に関する規定等は整備されているか
6. 業界や地域社会等に関するコンプライアンス体制は構築されているか
7. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
8. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

3. 教育活動

1. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方策がされているか
2. 教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
3. 学科等のカリキュラムは内容や時間配分に関し、体系的に編成されているか
4. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育上の工夫・開発などが実施されているか
5. 関連分野の企業等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか
6. 授業評価の実施・評価体制はあるか
7. 成績評価・単位認定・進級や卒業判定の基準は明確にされているか
8. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか
9. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか
10. 実技・実習が講義と連動するなど、効果的学習に配慮されているか

4. 学修成果

1. 就職率の向上が図られているか
2. 資格取得率の向上が図られているか
3. 退学率の低減が図られているか
4. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
5. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

5. 学生支援

1. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
2. 学生相談に関する体制は整備されているか
3. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
4. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
5. 課外活動に対する支援体制は整備されているか
6. 学生に生活環境への支援は行われているか
7. 保護者と適切に連携しているか
8. 卒業後の支援体制はあるか
9. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
10. 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

6. 教育環境

1. 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
2. 実習室には実習に必要な設備が整備されているか
3. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
4. 防災に対する体制は整備されているか
5. 学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか

7. 学生の受入れ募集

1. 学生募集活動は適正に行われているか
2. 学生募集活動に於いて、教育成果は正確に伝えられているか
3. 学納金は妥当なものとなっているか
4. 学校案内等に学費・受験料・学習教材の購入費等が明示されているか

8. 財務

1. 中長期的に学校の財務基盤が安定しているといえるか
2. 収支予算・事業計画は有効かつ妥当なものとなっているか
3. 財務について会計監査が適正に行われているか
4. 財務情報公開の体制整備はできているか

9. 法令等の遵守

1. 法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
2. 個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか
3. 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
4. 自己評価結果を公表しているか

10. 社会貢献・地域貢献

1. 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか
2. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
3. 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

学校関係者評価委員会 委員

委員名	所属等	区分
田原 利晃	京都建築工業協同組合 理事長	業界団体
福井 晟	株式会社 福井 (旧京都建築工業学校教員)	業界企業
上代 眞廣	上代工務店	卒業生

学校事務局

佐野 春仁	京都建築専門学校 校長	事務局
桐浴 邦夫	京都建築専門学校 副校長	事務局
乾 竜哉	京都建築専門学校 事務長	事務局

1. 理念・目的・育成人材像

現在の理念・目的に基づき、引き続き人材育成をとの要望があった。

2. 学校運営

特に学校関係者評価委員よりの確認指摘事項はなかった。

3. 教育活動

引き続き教員個人で受ける研修以外に学校から研修を受けさせるよう指摘があった。

4. 学修成果

資格取得に対し、受験率、合格率の向上に一層努めるよう要望があった。

5. 学生支援

引き続き高い就職率を維持するよう要望があった。

6. 教育環境

コロナ禍における授業等の工夫を、一層充実するよう要望があった。

7. 学生の受入れ募集

広報に於けるDM等の送付や、HP及び学校パンフレットの充実など、学生募集活動に一層努めるよう要望があった。

8. 財務

特に学校関係者評価委員よりの確認指摘事項はなかった。

9. 法令等の遵守

特に学校関係者評価委員よりの確認指摘事項はなかった。

10. 社会貢献・地域貢献

学生による住宅(町家)改修活動や、建工祭(学園祭)等で地域との交流に一層努めるよう要望があった。

コロナ禍により実施できていない市民講座等の公開講座を、可能な限り早く再開するよう要望があった。